

日本の速記

2025

5

No.1017



シリーズ 議会豆知識 61「質問通告① ―その意義―」

第 57 回全国高等学校選抜速記競技大会を開催

令和 6 年度速記交流競技会報告（第 2 部）

速記茶話会の報告から③

「AI 時代の英語教育―文体への意識」

公益社団法人 日本速記協会

目次

日本の速記2025年5月号

巻頭言 「検定受検者増に向けて」	
理事 久住 和輝	1
シリーズ 議会豆知識 61「質問通告① ―その意義―」	
理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信③「自分でも文章を書きたくなった」	
前川 純二	4
第57回全国高等学校選抜速記競技大会を開催	
理事 中根 康雄	6
令和6年度速記交流競技会報告（第2部）	
理事 中根 康雄	11
速記茶話会の報告から③「AI時代の英語教育―文体への意識」	
京都府立大学副学長 山口 美知代	20
第6回 速記交流合宿のお知らせ	23
朝ドラ・ヒロインは中根式速記の達人だった	
理事長 保坂 正春	24
保田さん 初めての著書を発行	26
「日本の速記」を購読されている皆様へ	27
賛助会員としてのご支援のお願い	28
寄附のお願い	29
令和7年度第4回定例理事会 議事概要	30
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第229回速記技能検定のお知らせ	

表 紙

『スキッパーズ』

一説では日本の蝶類トップクラスの飛行速度ともいわれるセセリチョウ類（skippers）に興味がわき、ちぎった和紙で蝶を表現しました。絵具を紙同士で押さえつけ開いたときに出来る模様（デカルコマニーという技法です）を意識した翅（はね）にしたい、かの有名な心理検査・ロールシャッハテストで使用される模様をひきうつしました。

（千葉大二郎・硬軟）

■巻頭言■

検定受検者増に向けて

理事 久住 和輝

私が日本速記協会と出会ったのは、速記技能検定でした。

初めての受検は大学一年生の頃、速記研究会の先輩から勧められて受けた五級（一二〇字／分）でした。

秋の新人戦が終わり、全日本大会を控えた十一月。過去問題を先輩に読んでもらって練習し、緊張しながら高田馬場の会場に向かった記憶があります。本番ではいつもより手が動かず、速記文字は大きめになりがちでしたが、何とか合格することができました。その後も在学中にチャレンジを続け、受かったり落ちたりを繰り返しながら、二級まで取得することができました。

現在でも、大学速記の後輩たちが積極的に受検してくれているようで、日本の速記の合格者欄に知った名前を見つけると、とても嬉しい気持ちになります。

速記者の養成所・専門学校が規模を縮小し、閉鎖されていく中で、速記技能検定の受検層はかなり変容したと思います。

現在手書き速記で速記技能検定を受検する人の多くは、クラブ・サークル活動として速記を練習する生徒・学生や、趣味として速記を楽しむ学習者です。

他方、実務家の受検者を見てみると、機械速記やIBT（インターネットによる試験）を利用して受検される方が多くなりました。

速記技能検定は、第二〇三回（平成三〇年一月実施）から機械速記・機械反訳での受検を認めています。

また、第二二〇回（令和五年二月実施）からは、ZOOMを利用したIBTを開始しています。これらの検定制改革は、新規の受検者層の取り込みに成功し、一定程度の成果を上げているようです。

もっとも、速記という珍しいものがあるらしい、ちょっと覚えてみようかしらと興味を持たれた方を、検定の受検にまでつなげるのは、なかなかハードルが高いものです。また、機械速記の受検者層についても、まだ十分に開拓し切れてはおらず、今後の伸び代があるように感じます。

速記技能検定を赤字事業にせず、持続可能なものにしていくためには、受検者を増やすことが不可欠です。検定の魅力をもっと広く届け、受検のハードルを下げるために何ができるか、検討し実行に移していく必要があると思います。

第6回 速記交流合宿のお知らせ

日 時・・・8月8日（金）～11日（月・祝）

場 所・・・東京都内の貸会議室（未定）

参加費・・・日本速記協会の方	1日1,000円
未加入の方	1日2,000円
当日現金払いの方	1日2,500円

内 容・・・速記の学習、速記競技会（第3回スパイカップ）、
懇親会など

懇親会・・・8月8日（金）と10日（日）の午後6時半ごろから2
時間を予定。場所は後日、公表

懇親会費・・・1回3,000円～4,000円

初学者の方、初回参加の方、大歓迎です。ご興味ある方、ぜひ参加してください。お申込みはこちらのQRコードから、6月7日（土）までをお願いします。御質問などありましたら、以下のメールに問い合わせてください。皆様の参加、お待ちしております。



代表者 山田 雪乃
連絡先 sokkibiyori@gmail.com

朝ドラ・ヒロインは

中根式速記の

達人だった

NHK連続テレビ小説『あんぱん』がスタートして、あつという間に一か月が過ぎました。私はこれまで、朝ドラはほとんど見ていませんでしたが、今は『あんぱん』の面白さにすっかりハマっています。

なぜ朝ドラを見るようになったのかは、もうお分かりのことでしょう。本誌一月号の年頭所感でも少し触れたように、今回の連続テレビ小説『あんぱん』は、『アンパンマン』を生み出したやなせたかしさんと、奥様

の小松暢さんをモデルにした作品です。

その暢さんについてやなせさんは、著書『アンパンマンの遺書』（岩波書店）の中で、「小松記者は中根式速記の達人だから、テープレコーダーのまだない時代には貴重な戦力だった」と書いています。

恐らくこの記述が目に残ったのでしよう。昨年の秋頃、NHKのドラマ制作スタッフから日本速記協会に問い合わせがありました。

ここから先は、ネタバレのおそれもありますから、後日、中根理事から詳細な報告をいただくことにしますが、とにかくにも、朝ドラで速記のシーンが出てくるぞということでは、言ってもよい段階に來たのではないかと思います。

なぜならば、NHK出版が発行している「NHKドラマ・ガイド 連続テレビ小説 あんぱん Part

1」には、前半部分に当たる第一週から第十三週までのあらすじが掲載されており、最後の第十三週にのぶと速記との出会いが出てきます。

また、今は、ネットニュースで様々な情報が公開されますが、放送開始直前のニュース・リリースを受けて、ヒロインの朝田のぶを演じる今田美桜さんが、役作りのための準備や習得中のスキルを明かしたインタビュー記事が大量に拡散しました。例えばこんな感じです。

（前略）方言のほかにも、本作のぶは高知の新聞社に戦後初の女性記者として就職することになることから「今は速記を勉強中です」と明かし、（中略）本作ののぶについても「速記がいろいろな道を開けていく一つの大きな武器になっているので、見どころの一つにもなっています」とアピールした。

簡単な線や点でできた符号などを
使って言葉を書きとる速記について、
今田は「これを覚えたらとても便利
だろうなと思うんですけど、なか
な難しいです。今はスマホで録音や
メモをとる方がたくさんいらっし
やと思うので、速記はすごく新鮮
んじゃないかなと思います。本当
にフニャフニャした文字なんです
(笑)。当時の皆さんはそうやって
メモを取られていたのがすごくて、
これからの撮影でも楽しみの一つ
です」と声を弾ませていた。(3月29
日配信・ENCOUNTより引用)

(前略)ところが挑戦は土佐弁だけ
ではなかった。劇中、戦争で全ての
価値観が変わったのぶは「何が正し
いかは自分で見極めなければなら
ない」と戦後、高知の新聞社に女性初
の記者として就職する。ボイスレ
コーダーやスマートフォンはなかつた

時代。そこで記者としてののぶの大き
な武器となるのが「速記」。実際に
暢さんは高知新聞社に入社し、そこ
でやなせさんと出会う。(中略)

「新聞社パート」の撮影はこれか
らだが、現在「速記を勉強中です」
と準備に余念がない。「そもそも速記
というものをあまり知らなかった」
といい、特殊な文字を使って人が話
す言葉をすぐさま書き取る速記の技
術に驚く日々。「本当にふにやふにや
した文字なんです。当時はそうやっ
てメモを取っていたのが単純に凄
くて……。今からそれを撮影しますが、
速記は楽しみな一つです」と新たな
挑戦にも胸を躍らせる。(3月29日
配信・スポニチアネックスより引用)

今や国民的女優と言われる今田美
桜さんが速記符号を実際に書いてい
る場面を想像すると、ワクワクして
きます。速記指導を担当した中根理

事はハラハラしたと思いますが、今
田さんの何事も手を抜かない女優魂
にも注目して見てみたいと思います。

テレビアニメ「それいけ!アンパ
ンマン」が始まったのは一九八八年
です。私の子供たちは、まさにアン
パンマン世代で、幼児期から小学生
時代まで夢中で見て育ちました。

当時は、やなせさんがアンパン
マンに込めた意味など考えもしませ
んでしたが、ネット上に溢れている朝
ドラ『あんぱん』の記事を読んで、
「逆転しない正義」にたどり着くま
でのやなせさんの人生について、深
く考えさせられることが多くなりま
した。

豪華なキャストの一つ一つのせり
ふや表情、それを生み出す中園ミホ
さんの脚本にも、ますます期待が高
まるばかりです。

(保坂正春)

編集部より 著書の紹介②

保田さん 初めての著書を発行

保田良春さん（和歌山ブロック所属、協会理事）が『地方議会と会議録～地方議会への「想い」と会議録作成のノウハウ集～VOL.Ⅰ』を発行されました。

まず、保田さんの経歴を簡単にご紹介します。

- ・高校卒業後に大阪早稲田速記専門学校に入校
- ・在学中に和歌山県議会からの求人により入庁
- ・20歳から30年間、県議会速記者として現場に臨席し続け、県議会側の事情から一般職に替わった後の10年間も会議録作成に従事
- ・公務員卒業後、紀の国速記研究所を創設、協会理事に就任
- ・現在は、様々な発言記録の作成を受注するとともに、全国各地で会議録作成に係る講演を行う

このように、保田さんは、実務速記の中でも特に会議録作成業務の専門家と言える速記者です。

その保田さんが「会議録作成のバイブル」となればという渾身の思いを込めて書かれたのが本書です。

内容としては「地方議会の基本」「会議録の基本」「会議録作成の基本」という3つの基本について、議会に長く勤務してきたスペシャリストの視点から分かりやすく解説しています。

例えば「会議録作成の基本」では、業務に際しての心構えとして、『扱う文章は100%他人の言葉であると認識し、なされた発言に対して虚心坦懐になること』を強調しています。

本書は、議会事務局の方々だけではなく、速記・記録業界に身を置き、会議録などの作成に当たっている皆さんにとってまさに必見の参考書であると思いますので、ぜひ一読を。

*定価は、1080円（税込）です。

*購入は、アマゾンのサイト

(<https://amzn.asia/d/iYCt5Tu>) をお願いします。



「日本の速記」を購読されている皆様へ

これまで、協会財政の現状等に触れつつ、冊子でお送りしている「日本の速記」の削減についてご協力をお願いしてまいりました。

前号「日本の速記」4月号において、皆様のご意向を伺うべく、はがきを同封する旨、及びQRコード等の利用を検討している旨、お知らせしましたが、一定の準備が整いましたので、ご案内いたします。

今回、ご意向を伺うのは、「日本の速記」を購読されている方のうち、「日本の速記」を個人単位で直接ご自宅にお送りしている皆様です。

下記・左側のQRコード、または、同封のはがきにてご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

まことに勝手ながら、6月5日までにご回答いただきますよう、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。(遅れた場合でも対応いたします。)

また、「日本の速記」のHPへの掲載についても、サンプル的なものをHPに掲載する予定である旨、お伝えしましたが、こちらも準備が整いましたので、ご案内いたします。

下記・右側のQRコードから協会HPの《「日本の速記」デジタル版》のページをご覧くださいことができます。

また、協会HPからは、トップページのスライド中、「日本の速記」の表紙画像をクリックしていただき、《「日本の速記」デジタル版はこちらから》をクリックするとご覧いただくことができます。

『日本の速記』
デジタル版 意向確認



『日本の速記』デジタル版
サンプル



賛助会員としてのご支援のお願い

日本速記協会は、1920年（大正9年）に結成、1965年（昭和40年）に社団法人として認可、2012年（平成24年）に公益社団法人として認定という歴史を有しており、この間、「国民の書記能力の増進」「記録事務の能率化」「速記の普及発達と利用分野の開発」「公正で正確な発言記録作成技術の普及」などといった目的を達成するために様々な事業を展開しております。

その主な事業として、速記技能検定の実施、議事記録事務及び議事運営事務に係る研修会の開催、標準用字用例辞典など発言記録作成に資する書籍の刊行が挙げられますが、当協会では、これらの事業を充実させ、速記・記録技術の発展と社会への貢献を強化するため、賛助会員制度を設けております。

つきましては、当協会の目的と活動にご賛同いただける皆様に、賛助会員としてご支援を賜りたく、ここにお願い申し上げる次第でございます。

賛助会員の皆様には、以下の特典をご用意しております。

1. 当協会発行の機関誌「日本の速記」の無料提供
2. 標準用字用例辞典など協会刊行物の割引購入
3. 速記・記録技術に関する研修会やセミナーへの優待参加
4. 速記・記録技術に関する最新情報の優先提供

賛助会員の会費は **1 口30,000円**（年額）となっております。

皆様からのご支援は、速記・記録技術の研究開発や普及、発言記録作成技能者の育成環境の整備、そして議事録作成や字幕制作など情報保障に係る取組の拡充に活用させていただきます。

当協会は、会員の高齢化や会員数の減少などにより、難しい事業運営を余儀なくされている側面もありますが、事情ご賢察の上、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

【お問合せ先】 日本速記協会事務局 Tel03-6205-9701（担当：蒲池）

公益社団法人日本速記協会定款

第5条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 賛助会員 前号に該当しない者で、この法人の目的に賛同し、学術研究その他の見地からこの法人の発展を賛助するために入会した個人又は法人若しくは団体

寄附のお願い

公益社団法人日本速記協会

理事長 保坂 正春

日本速記協会は、速記の普及並びに歴史・文化の継承とともに、正確な発言記録の作成を支援する活動を行っています。

しかしながら、これらの活動を支える会費収入は年々減少しております。

速記を未来につなげていくために、広く皆様方よりご寄附によるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎寄附金振込先

- ・郵便局（ゆうちょ銀行）からお振込みの場合

番号 00110-2-53583 加入者名：公益社団法人 日本速記協会
※振込票の「通信欄」に「寄附」と記載してください。

- ・銀行からお振込みの場合

みずほ銀行 町村会館出張所

普通預金 1001509 公益社団法人 日本速記協会

◎領収書の発行について

寄附金拝受後に「領収書」と「税額控除に係る証明書」を郵送します。

領収書の発行日は、寄附金の入金日となります。

◎税制上の優遇措置について

公益法人へ寄附を行った場合、寄附金の額に応じて個人または法人の所得から一定額を控除する等の税制上の優遇措置が設けられています。

◎問合せ先

公益社団法人日本速記協会 事務局

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-10-11 KG ビル4階

Tel : 03-6205-9701 Fax : 03-6205-9702

e-mail : info@sokki.or.jp

早稲田式速記教材のご紹介

本号掲載著作物の無断転載、複製を禁じます

第229回速記技能検定のお知らせ

☆日 時 令和7年5月25日(日)

・東京・大阪以外の会場

全級

受付12:00～ 検定開始13:00

・東京・大阪(午前・午後実施)会場

午前

3・5級

受付10:45～ 検定開始11:30

午後

1・2・4・6級

受付12:55～ 検定開始13:40

検定会場と開始時刻は、受験票でよく確認してください。

☆試験級 1級から6級まで全級実施

☆試験地 札幌、盛岡、東京、名古屋、大阪、福岡

☆受験料 1級 6,000円 2級 5,000円 3級 4,000円
4級 3,000円 5級 2,500円 6級 2,000円

☆受付期間 4月1日～5月10日(必着)

※検定会場の事情が許せば、検定当日の申込みもできます。
必ず事前に協会にお問い合わせください。

☆朗読速度・朗読時間・反訳時間等一覧表

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
分 速 (字)	3 2 0	2 8 0	2 4 0	1 8 0	1 2 0	8 0
朗読時間 (分)	1 0	1 0	5	5	5	5
総 字 数 (字)	3 2 0 0	2 8 0 0	1 2 0 0	9 0 0	6 0 0	4 0 0
反訳時間 (分)	1 3 0	1 3 0	6 0	6 0	6 0	6 0
正 確 度 (%)	9 8	9 8	9 7	9 7	9 6	9 6
許容失点 (字)	6 4	5 6	3 6	2 7	2 4	1 6

☆合格者の登録・認定等

- ・合格者は、協会備付けの合格者名簿に登録する。
- ・合格者は、履歴書の「資格」欄へ以下のように記載できる。
「〇年〇月〇日 文部科学省後援、日本速記協会認定第〇回速記技能検定〇級合格」
- ・1級合格者、2級合格者をそれぞれ「1級速記士」、「2級速記士」と認定する。
また、本人の申請により、「1級速記士証」、「2級速記士証」を交付する。

☆次の検定予定

第230回 令和7年8月31日(日) 長岡、東京、名古屋、大阪

☆問合せ先

〒171-0033 東京都豊島区高田3-10-11 KGビル4階
公益社団法人 日本速記協会
電話 03-6205-9701 e-mail info@sokki.or.jp